汗水節（あしみじぶし）　Ver1.0

工六七合七中工六尺中上老四合工六

七合七中工六尺中上老四工四中工六　あしみ

じゆながち　はたらちゆるひとうぬ

尺中上老四〇四老四上四老合老四〇

くくるうりしさや　ゆすぬしゆ

四老四中工合六合七合七六中尺工六

みゆすぬしゆみ　ユイヤサー

工合工六四中工中尺合尺老四上四老

サー　ゆふぬしゆみ　シュラヨー　シュラ

四工四工四中工中尺〇工六七〇七中

はたらかな

尺中上老四〇

一、汗水ゆ流ち働ちゅる人ぬ
心嬉しさや他所ぬ知ゆみ他所ぬ知ゆみ
ユイヤサーサー他所ぬ知ゆみ
シュラヨ　シュラ　働かな

二、一日に一厘百日に五貫
たみて損なゆみ昔言葉昔言葉
ユイヤサーサー昔言葉
シュラヨ　シュラ　働かな

三、朝夕働ちょて積み立てる銭や
若松ぬ栄い年と共に年と共に
ユイヤサーサー年と共に
シュラヨ　シュラ　働かな

四、心若々と朝夕働きば
五六十になてん廿才定み廿才定み
ユイヤサーサー廿才定み
シュラヨ　シュラ　働かな

五、寄ゆる年忘て育てたる生し子
手墨学問や汎く知らし汎く知らし
ユイヤサーサー汎く知らし
シュラヨ　シュラ　働かな

六、御萬衆の為も我が為と思て
百勇み勇で尽しみしょり尽しみしょり
ユイヤサーサー尽くしみしょり
シュラヨ　シュラ　働かな